

ようこそ！モスクワ日本人学校のホームページへ

校長 岩本 謙一郎

モスクワ日本人学校は、昭和42年（1967年）10月2日にクツゾフスキーに児童生徒16名で開校し、今までに3度の移転を経て、昭和52年より現在の校舎に移転しました。本年度（2017年）で50周年を迎えます。

現在、世界には89校の日本人学校があります。また、ヨーロッパには21校の日本人学校がありますが、その中では一番古い歴史を持った学校です。その間、本校で学び巣立った児童生徒は、多方面でグローバルに活躍を続けています。

本校はモスクワ市内の南部に位置し、小学部・中学部合わせて、約130名の児童生徒が元気に学んでいます。小学部と中学部が併設されていることもあり、小学部の児童と中学部の生徒は大変仲が良く、様々な行事や色々な活動では中学生がリーダーシップをとり、ひとつになって取り組んでいます。



学校としては、本年度は次のことを重点的に取り組んでいきます。

○モス日で学ぶことの素晴らしさを実感する教育

（1）子どもと共に学び合う教育

人の心を動かすのは、人の心。教師自身が素直に感じる心をもつことで、児童生徒にもその心は伝わります。本当に真剣で、一生懸命な姿は人を感動させる力をもっています。笑顔や本気の姿から、仲間に感動を与えることができます。本年度は、仲間に感動を与える場面やエピソードをいっぱい創り、子どもと共に学ぶ教師集団を目指します。

（2）感動する心を育てる教育

感動する心を育成することは、人の行動や態度を受け入れる心を育てることだと思えます。「すごい！」と素直に受け入れて感動する児童生徒の姿を目指していきたくと思っています。

特に、学校生活の中核を成す授業において、感動を味わうことができる授業を創れるようにしていきたいと思えます。児童生徒の考えや思いを見逃さず、学びを通して感動を共有する姿を育成します。

（3）何でも本気で取り組む心を育成する教育

「一生懸命に頑張っていることは、いいことなんだ。」と素直に受け止める心を育成したいと思っています。失敗を恐れ、力を出し切らないことで、自己防衛をする態度から一歩踏み出して、例え失敗をしてもそれを糧として次につなげ、更に全力で取り組む心と態度を大切に育てていきたいと思えます。そして、自信を持ち、何にでも全力で取り組む児童生徒の集団を創っていきます。

しかし、この目標は学校だけの力で達成できるものではありません。モスクワ日本人学校の教職員が一丸となって、互いに切磋琢磨しながら全力で取り組み、さらに今年度は保護者会からPTAに移行しますので、今まで以上に保護者の皆様や関係機関の皆様の力をお借りし、子どもたち一人ひとりを温かく見守り、育てていく学校づくりを推進していきます。そして、子ども一人ひとりの成長を互いに喜び合える関係を広げ、深めていきたいと思えます。

